



# たかぎ 議会だより



No.91 令和2年10月

**P2.3** 令和元年度決算の認定

**P4** 令和元年度決算をチェック

**P5.6** 常任委員会報告・  
令和2年度第1回臨時会の報告

**P7** 議案審議内容

**P8** 議会活動より

**P9.10** 一般質問

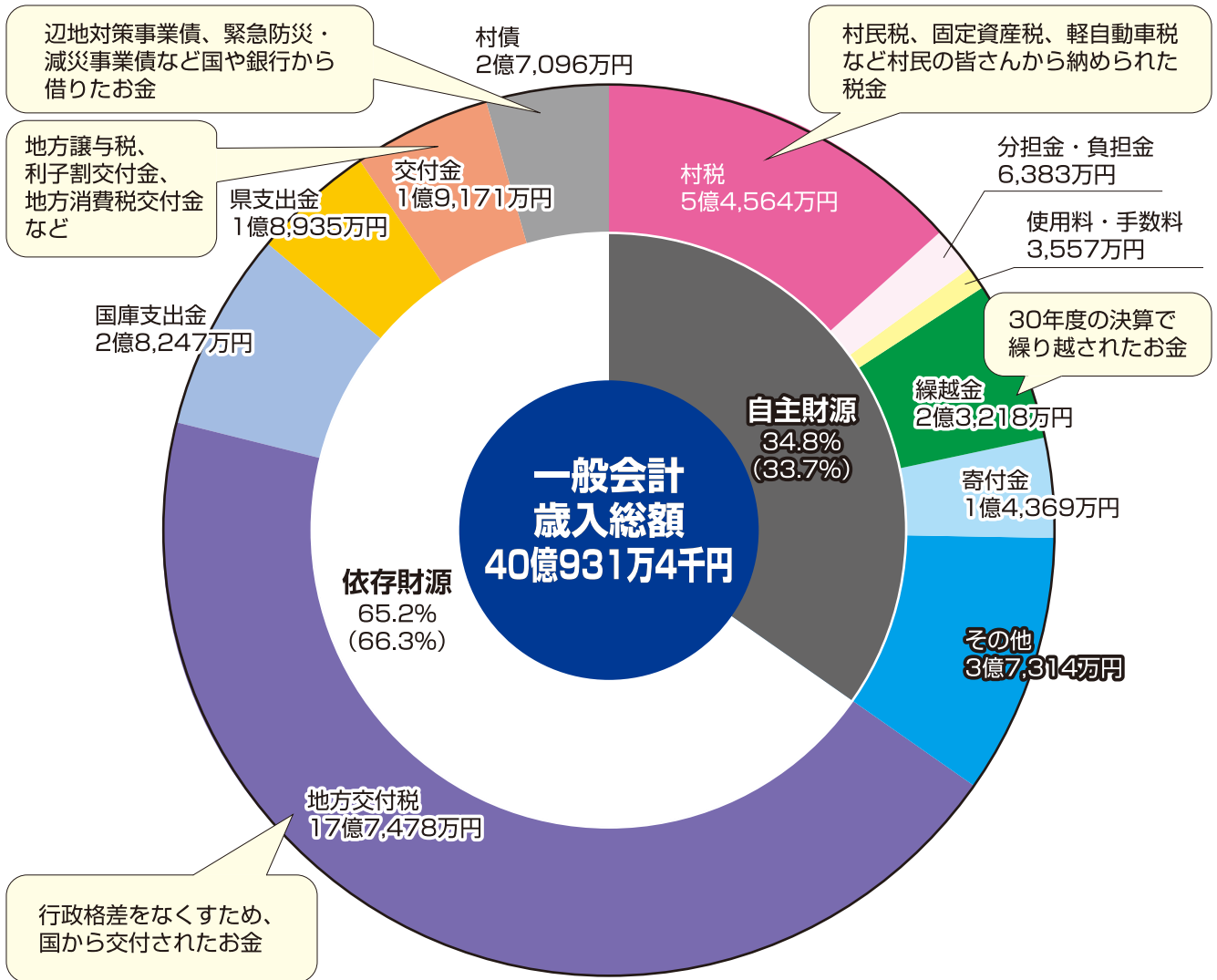
**P11** 議会だよりへのご意見より  
議会モニター

**P12** この村でがんばってます

青風祭のステージ発表  
～バトンをつなぎ新たな道へ～



# 令和元年度 決算の認定



## 〇一般会計・特別会計 歳入歳出決算の状況

単位：円

会計名	歳入			歳出		
	令和元年度	平成30年度	前年比	令和元年度	平成30年度	前年比
一般会計	4,009,314,378	3,707,666,023	8.10%	3,586,014,591	3,475,479,372	3.20%
特別会計	1,380,346,585	1,427,404,071	△3.3%	1,344,167,103	1,393,522,647	△3.5%
国民健康保険特別会計	553,243,727	583,802,981	△5.2%	527,810,309	566,935,184	△6.9%
後期高齢者医療特別会計	78,612,333	74,765,712	5.10%	78,553,233	74,728,112	5.10%
介護保険特別会計	748,490,525	768,835,378	△2.6%	737,803,561	751,859,351	△1.9%
合計	5,389,660,963	5,135,070,094	5.00%	4,930,181,694	4,869,002,019	1.30%

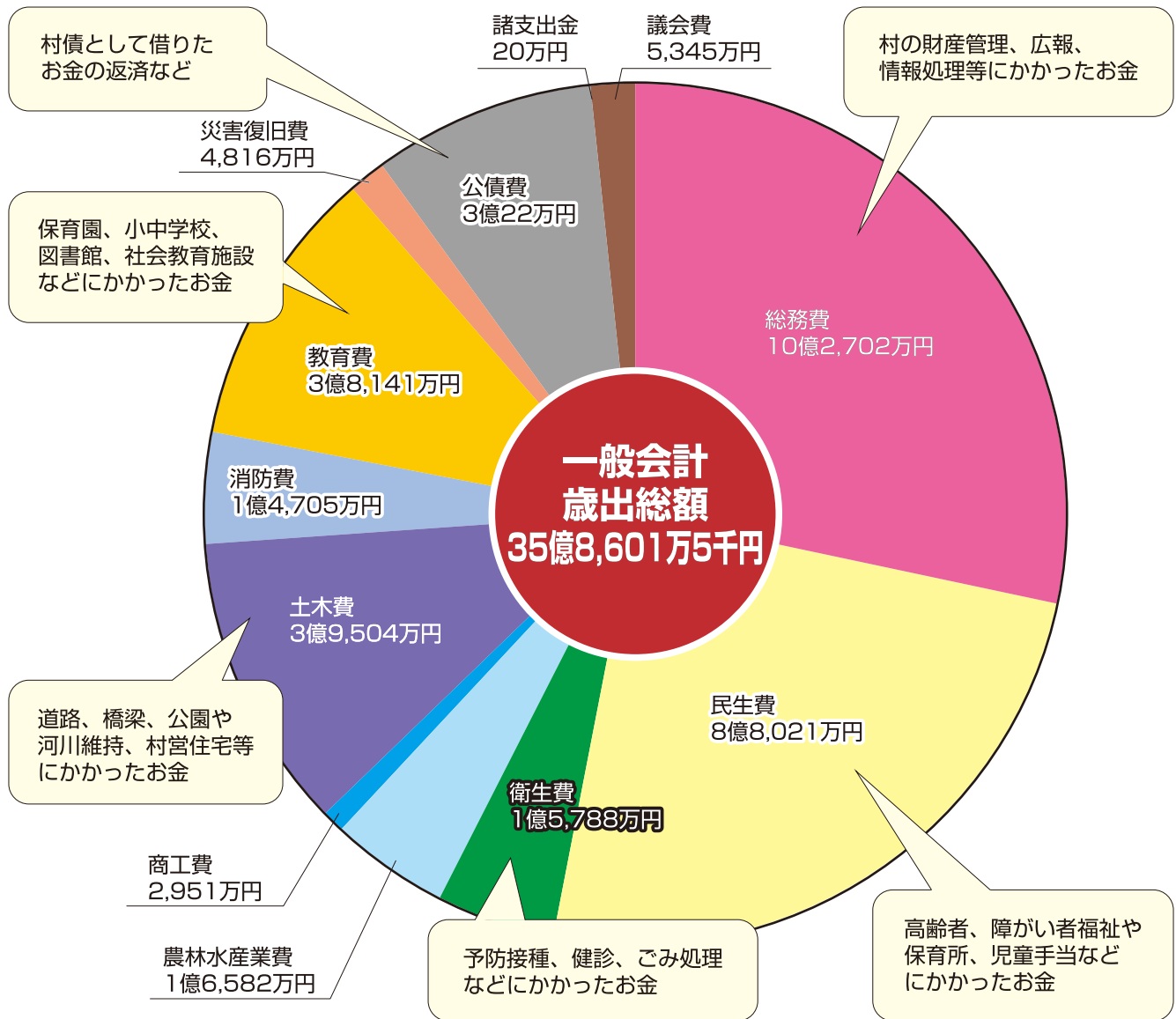
## 〇事業会計 歳入歳出決算の状況

※下水道事業会計は令和元年度より事業会計に移行したため比較対象なし。

会計名	歳入			歳出		
	令和元年度	平成30年度	前年比	令和元年度	平成30年度	前年比
水道事業会計 (参考)	179,954,136※	178,877,999	101.00%	188,465,606	181,852,645	104.00%
下水道事業会計 (参考)	438,707,489※	0	皆増	545,812,148	0	皆増

※歳入には一般会計からの繰入金 (ルール分) は含まれていません。

令和2年度第3回定例会が9月3日から23日までの21日間の会期で行なわれた。16日に開催された予算決算常任委員会へは、令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定の他、3つの特別会計、2つの事業会計それぞれの決算の認定、令和2年度一般会計補正予算（第5号）など、10議案が付託され審査・審議を行い、すべて原案の通り認定・可決した。

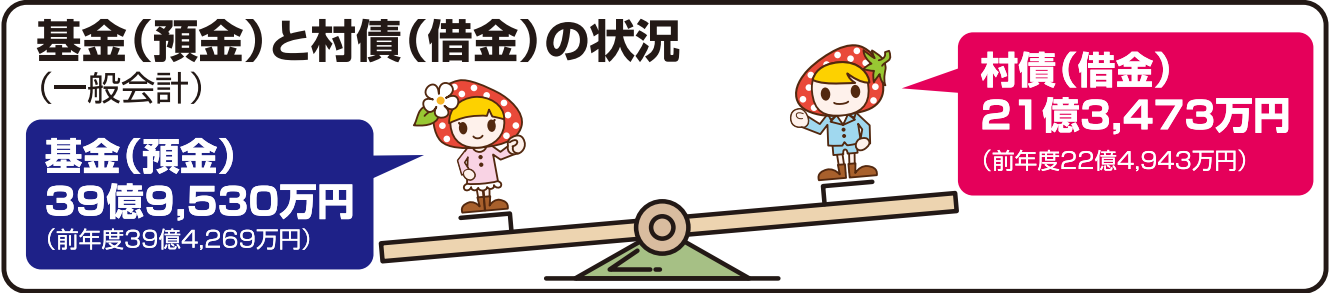


**財政力指数 0.26**（前年度同様）（県内平均 0.4）  
◆「1」を超えるほど財政に余裕があります。

**経常収支比率 79.5%**（前年度82.9%）（県内平均86.5%）  
◆財政構造の弾力性を測定する指標。この数値が高いほど財政が硬直化し、自由度が少なくなっている状態を表します。

**財政の健全化判断基準となる4指標**

実質赤字比率	該当なし
連結実質赤字比率	該当なし
実質公債費比率	8.0(25%以下)
将来負担比率	該当なし



# 令和元年度 決算を千エツク

9/16に令和元年度の各会計決算の審査を行い、すべて認定した。今年度も事務事業評価シートを用い、各常任委員会からの抽出事業を主に審査し、事前質問合わせ述べ113の質疑が出された。  
主な質疑は下記の通り。

**Q** 義務的経費（人件費・扶助費・公債費）の割合が構成比ベースでは減少しているが決算額ベースでは増えている。抑えるには事務の効率化が有効であると思うが、今後の方向性は？

**A** AIやRPAなど、新しいテクノロジーを使用する方法もあるが、本村の人口規模ではあまり効果的ではない。新しい法律対応で事務量が増えている。人口減少はするが人件費を減らすことは難しい状況。引き続き効率的な事務処理を考えていく。

**Q** NPOの意義をもう一度見直す必要がある。コロナの影響でイチゴ狩りの手数料も半減する。各団体での経費負担の公平性など、今後のNPOの運営を村としてどう考えるか？

**A** NPO全体での決算はされているが、各団体の収益は示されていない。各団体の活動状況と、それに対する支援策が問われている。手数料のルール分収入に加え、村から活性化の補助金を出している。各団体にNPOが支援しながら効果が上がるよう検討する。

**Q** 火災時、特に山間地では一般車両が路駐をし緊急車両が通れない場合がある。村で規制するなどの方策を考えるべきと思うが？

**Q** 人・農地プラン推進事業で、どの地区も高齢化が進み遊休農地が増えている。村に依存するのではなく、地域が主体的に考え行動しなければ農地の活用が進まないと思う。村としての立ち位置をどう考えるか？

**A** 集落など地域の中でまとまる形で将来の農地をどう利用していくか話し合う中で、人・農地プランの見直しに取り組んでいる。村が主導ではなく、地域の皆さんが地域を考える場としたい。今後も地域の中でどうするかを結び付け、継続的に見直ししながら実効性のあるものにしていきたいと考える。

**Q** 公民館運営経費について、地域の少子高齢化、人口減少により、運営ができない状況もある。また今回のコロナ禍で、新しい生活様式の中で公民館活動が存続できるか？ 運営を考える時期が来ていると思うが？

**A** 村民意識調査の中でも、公民館活動に対する意識が大分低くなっている。大勢で行うようなものだけでなく、アンケートや作品を募集するなど、活動計画を見直す時期でもあるので、今後検討していく。

**A** 火災現場での規制は難しい。情報誌への掲載等により消防車などの進行を妨げないような駐車に配慮するよう村民の皆様様に周知する。

**Q** 村単農業改良施設事業について、20万円の材料支給は地域にとって大変助かるが、高齢化が進み、材料支給があっても地区での作業がままならない地区もある。村としての対応は？

**A** 毎年、区・自治会とヒヤリングを行い、事業主体の規模の精査をしている。材料支給では難しいところは、村の事業で地元負担をいただき整備している。ただ、村の事業となると経費などが上乗せされる。少ないお金で整備区間の延長を望まれる地区もあるので、引き続き制度としては残していく。

**Q** 水道事業会計について、水道管の老朽化や人口減少も含め、近隣市町村との統合など継続的に研究をするのとあるが、現時点での考えは？

**A** 上下水道事業の経営は、喬木村に限らずどこの町村も人口減少の中で厳しい状況。県も広域での連携について検討をしている。具体的には豊丘村と災害時に水の供給をやり取りできないか話をしている。将来的には広域的に経営基盤を強化しないとやっていけないと見ている。具体的に研究をしていく。

# 予算決算常任委員会

令和元年度の決算審査に続き、令和2年度の各会計補正予算の審議も行い、全て原案通り可決した。主な内容は下記の通り。

委員長 佐藤文彦

## 令和2年度 一般会計補正予算（第5号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、5億1,695万円を追加  
（主な歳入内容）

災害復旧費国庫負担金 2億4,000万円  
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

6,600万円  
災害復旧事業債 1億2,800万円

（主な歳出内容）

総務費：村営バス運営経費（感染防止対策等） 209万円

//：庁舎情報機器関連経費（テレワーク環境整備） 554万円

//：財政調整基金等管理経費（積立金） 7,000万円

土木費：住宅等支援事業（住宅産業支援） 1,500万円

災害復旧費：村単農業用施設災害復旧事業費 130万円

//：国庫補助農業用施設災害復旧事業費 3,480万円

//：森林災害復旧事業費 2,250万円

//：公共土木施設災害復旧事業費 3億6,734万円

## 令和2年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、1,337万円を追加  
（主な歳出内容）

基金積立金 財政調整基金積立金 2,000万円

## 令和2年度 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、259万円を追加  
（内容）

歳入は本算定による保険料の計上。歳出では広域連合納付金の計上。

## 令和2年度 介護保険特別会計補正予算（第2号）

・歳入歳出予算にそれぞれ、2,038万円を追加  
（内容）

歳入は国庫補助金・前年度繰越金。歳出は過年度精算による返還金。

## 令和2年度 第1回臨時会の報告

（令和2年7月17日開会）

新型コロナウイルス感染症や7月豪雨災害への対応のため臨時会が開かれ、全ての議案を原案通り可決した。

### 議案第46号

喬木村新型コロナウイルス対策支援基金条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度末までに融資を受けた県・村の制度資金に係る信用保証料・利子補給事業の原資とするために基金を設置。基金の原資は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てる。

### 議案第47号

### 議案第48号

### 議案第49号

財産の取得について

47号（消防団の災害対応能力向上を図る設備の整備）

⇒油圧切断機、エンジンカッター、チェーンソーなど、816万円の財産の取得

48号（災害時の避難所運営におけるコロナ感染症防止対策の資機材の整備）

⇒赤外線体温計、避難所テント、避難所トイレなど、923万円の財産の取得

49号（補助金を活用し児童生徒一人1台の端末環境を構築）

⇒380台の学習用タブレット端末を整備、1,705万円の財産の取得。

### 議案第50号

令和2年度喬木村一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出予算の総額48億8,072万円にそれぞれ3億3,350万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ52億1,422万円とする補正予算。

（主な歳入内容）

公共土木施設災害復旧費国庫負担金 1,267万円

総務管理費国庫補助金（コロナ対応臨時交付金） 8,363万円

商工振興費県補助金（プラスワン消費促進事業補助金） 1,586万円

繰越金（前年度繰越金） 1億4,380万円

（主な歳出内容）

総務費：財政調整基金等管理経費（議案第46号による） 3,000万円

商工費：プレミアム付商品券事業 1億3,250万円

災害復旧費：村単農業用施設災害復旧事業費 500万円

//：国庫補助農業用施設災害復旧事業費 1,000万円

//：村単土木施設災害復旧事業費 3,000万円

//：公共土木施設災害復旧事業費 2,000万円



大島阿島線 迂回路

# 総務産業建設常任委員会

委員長 下 平 貢

今回の定例会では、請願2件の審査を行ないました

## 請願第3号

地方自治と民意を尊重し、辺野古新基地建設工事を中断して、話し合いを求める請願

### 請願の趣旨

沖縄の民意を尊重し、継続した沖縄への差別、押しつけは続けてはならない。新基地建設は環境破壊や防災の観点からも課題が多いことから、新基地建設工事を中断し政府と沖縄県の話し合いを求める。

### 採決に向けた主な意見

沖縄基地問題に関する沖縄の住民の方々の思いについては充分理解できるが、外交・防衛・安全保障に関することは、国の専権事項であり村議会で議論する事案ではない。

採決の結果 不採択（賛成1 反対4）

## 請願第8号

国に対し「消費税5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願

### 請願の趣旨

コロナ禍の影響で当地域でも深刻な状況を招いている。消費税減税は景気対策にもつながる。税金の集め方、使い方を見直すことで財源の確保はできる。消費税を5%へ引き下げることを求める。

### 採決に向けた主な意見

消費税減税が直接経済の回復に繋がるとは思えない。消費税は、社会福祉、教育においても重要な財源である。自主財源の乏しい当村にとっては交付税への影響がどう出るのか心配である。

採決の結果 不採択（賛成1 反対4）

# 社会文教常任委員会

委員長 中 森 高 茂

今回の定例会では、請願4件の審査を行いました。

4件の請願は国や県に対して教育環境整備の推進を求めるものです。

## 請願第4号

「国の責任による35人以下学級の推進と教育予算の増額」を求める請願書

国の責任による35人以下学級の計画的推進と教育予算の増額、国の複式学級の学級定員の引き下げを求める内容。

採決の結果 採択（全会一致）

## 請願第5号

「複式学級の編成基準の改善、教職員定数増」を求める請願書

国の予算編成につき、どの子にも行き届いた教育をするために、複式学級の編成基準の改善、教職員定数増を求める内容。

採決の結果 採択（全会一致）

## 請願第6号

「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書

教育の機会均等とその水準の維持向上のために必要な義務教育費国庫負担制度を堅持し、国の負担率を3分の1から2分の1に復元を求める内容。

採決の結果 採択（全会一致）

## 請願第7号

「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの準に戻すこと」を長野県知事に求める請願書

へき地手当およびへき地手当に準じる手当を、近隣県並みに戻すことを長野県知事あてに求めるもの。

採決の結果 採択（全会一致）

# 議 案 審 議 内 容

## 議案第51号

喬木村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（内閣府令の一部改正を受けて用語等の一部を改正する条例）  
要旨 「喬木村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例」の改正

### 1.用語の変更

幼児教育・保育の無償化のため一部改正された「子ども・子育て支援法」において、従来の認定と今回新設された認定を区別するため、支援認定等の略称が変更された。

支給認定→教育・保育給付認定

支給認定保護者→教育・保育給付認定保護者

支給認定子ども→教育・保育給付認定子どもに改める。

議案採決の結果 可決

## 議案第53号

喬木村国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について（新型コロナウイルスに観戦した被用者に対する傷病手当金の適用期間を延長する内容の条例）

要旨 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対する傷病手当金の適用期間を延長するため、「9月30日」を「12月31日」に改める。

議案採決の結果 可決

## 発議第3号

（新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書）

採択 → 国へ意見書提出

## 発議第4号

（県道大島阿島線の早期の災害復旧と防災対策の強化を求めることについて）

採択 → 国・県へ要望書・陳情書提出

## 発議第5号

（防災、減災対策として主要地方道伊那生田飯田線小川渡橋の早期架け替えを求めることについて）

採択 → 国・県へ要望書・陳情書提出

## 発議第6号

（県道上飯田線小川・下氏乗間の被災時における早期の災害復旧と防災対策の強化を求めることについて）

採択 → 国・県へ要望書・陳情書提出

## 議案第52号

喬木村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

（厚生労働省令の改正に基づき、連携施設確保義務の緩和等について改正する条例）

要旨 市町村の認可を受けた家庭的保育事業者が行う公的な保育で、満3歳未満の子どもを対象とした小規模な保育事業に当たる。

議案採決の結果 可決

## 議案第64号

喬木村教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

委員の選任に対して同意した。

○教育委員 木下 守夫

## 発議第2号

（村長の専決処分事項の指定についての一部を改正することについて）

7月の豪雨災害や新型コロナウイルス対策を踏まえ、議会側から村に対して迅速な予算執行が可能になるように専決処分が可能な範囲を追加したもの。

採択

※専決処分：議会の議決や決定を経ず村長が自ら処理すること。

## 請願本会議議決結果

請願3号：不採択（賛成3、反対8）

請願4号：採択（全会一致）  
⇒国へ意見書提出

請願5号：採択（全会一致）  
⇒国へ意見書提出

請願6号：採択（全会一致）  
⇒国へ意見書提出

請願7号：採択（全会一致）  
⇒県へ意見書提出

請願8号：不採択（賛成3、反対8）

各町村から提出された14議案について審議を行い、全議案の採択を決定しました。喬木村からは次の4つの議案を提出しました。

## 国による空き家対策総合支援事業 に対する補助制度の拡充を求める ことについて

○市町村が国の交付金又は空き家対策総合支援事業補助金を活用して、空き家の改修等を行なう場合や、補助金を交付する場合の長野県の補助を求める内容。

## 小中学校臨時的任用者等の処遇等 改善について

○経験豊富で指導力の高い臨時的任用者等が教員採用試験を受験する場合の、学校長・教育長・校長会の三者の推薦のあるものについて優先的に採用する仕組みを検討することを長野県に求める内容。

## 県道上飯田線小川・氏乗間の永続的 な車両通行の保持と拡幅改良等整 備整備促進を求めることについて

○当該区間の脆弱な道路条件に対し、県道としての機能保持と、拡幅改良による整備促進を求める内容。

## 国民健康保険税の統一に向けた制度 設計について

○今後長野県内において、所得水準・世帯構成が同じであれば国保税が同額となるとの方向性が示された。飯田下伊那の受診環境整備を行い、特定健診受診率等の指標とした努力が反映できる制度や特別交付金を求める内容。

9月24日 北部ブロック町村議会として長野県、長野県議会に提言書を提出

## リニア村内関連工事の概要

### 阿島北工区における準備工事の概要

リニア中央新幹線の天竜川橋梁他新設準備工事に係る事前説明会が北自治会・北建設委員会・阿島北リニア対策協議会役員には9月14日に、喬木村リニア対策委員会には9月27日に行われた。

この事業は本年12月より新設工事共同企業体により行われる予定である。本年度渇水期の準備工事(天竜川瀬替え工事)事前の説明であり、工事や工程などの概要が示され、意見や要望を集約した。今後その意見等を基に検討し、10月下旬に住民説明会が開催される。

### 伊久間工業団地造成事業の概要

阿島北地区から転出せざるを得ない企業の移転先として「地域未来投資促進法」を活用し、農振除外許可を頂いた伊久間工業団地の造成に係る盛土搬入スケジュールが示された。本年度12月から3月までの日曜日・長期休暇を除いた8時から17時の間に、3万5千 $m^3$ の土量を最大150台/日(片道)運搬する予定である。運搬車両には、運転席と荷台に「喬木村代替地整備」の表示がされるが、安全運転の徹底を喚起していく。





大島地区の現状と今後の支援は

後藤 澄 壽 議員



**Q** 豪雨によって孤立した大島地区の現状と今後の支援は。

**A** お助け隊の付き添い送迎は継続していく。  
独居高齢者などに対しては、訪問による相談を行い、不安軽減、福祉サービスにつなげていく。

■富田・上平の村民バスの実証運行は。



令和2年7月豪雨災害を教訓とした今後の災害対応について

下平 貢 議員



**Q** 今回の災害からわかったこの村の弱点をどの様に捉えているか。今後どの様な点に注力が必要か。

**A** 土砂災害警戒区域に指定されている箇所が200カ所を超え、水害時や地震に伴う土砂災害のリスクを抱える中、今回の様に幹線道路寸断による孤立など山間地の集落の交通網整備の課題や避難情報の発信のあり方や気象情報への対応能力、長期間に及ぶ災害対応の場合の避難所の開設、運営には課題がある。

■水害時の避難所のあり方や安否確認の方法。  
■私有財産の復旧。



伊久間原、村道860号線の小川方面への道路の接続について

櫻井 登 議員



**Q** 計画道路としての必要性や位置づけはどのようか。延長計画に関する進捗状況と今後の見通しはどうか。

**A** 村では地元要望を受け、内部検討の経緯がある。急峻な地形に北向き斜面等、多額な工事費や維持管理費により断念。その後、木質バイオマス発電の建設計画が浮上も白紙となり現在に至っている。

伊久間原は1種農地で転用不可の上、車両通行量の増加要因もなく需要がない。新設計画もない。

■伊久間原農業者アンケート結果に見る今後の農業施策は。



令和元年度の決算について

佐藤 文彦 議員



**Q** 昨年度重点項目以外に浮かび上がった課題と、それらを今後の第5次総合計画後半へどのように反映させていくか？

**A** 想定していなかったコロナウイルスの問題は、村の財政的にも住民の生活面でも、今後大きな課題。少子高齢化・人口減少・地域自治活動など社会環境の変化や、様々な事情を鑑みの中で5年後の目標を設定し、村民の目に見える形で、前に進んでいる姿を見せられるような施策を盛り込んでいきたい。

■喬木村が「選ばれる地域」としての成果と課題は？など。



マイナンバーカードの取得について

東原 靖雄 議員



**Q** マイナンバーカードはデジタル化社会を実現するため、その取得は役場窓口、四つの申請の方法はどの様に行うか。

**A** 申請は個人番号カード交付申請兼電子証明発行申請が必要で①スマートフォン②パソコンについては事前に写真撮影しサイトにアクセスしメールとアップロードし申請する。③まちなかの証明写真機で直接申請可能で、機種は限られている。④郵送による申請は証明写真等を申請書に郵送で申請するもの。

■健康保健証を本格運用など利便性、保有メリットの向上は。



7月豪雨から見えてきた課題について

木下 温司 議員



**Q** 放置された私有地の災害要因に対する責任は？

**A** 不在地主の土地・家屋の管理については大変難しい問題。農地については、農業委員会が年一度調査し、遊休農地については、維持管理を適正に行うよう地権者に通知している。空き家については特に対応していないが、この問題現在のところ有効な手立てがない、今後村として研究していく。

■ゴミ減量とマナー向上・監視カメラについて。



7月の豪雨と、今後の対応について

小池 豊 議員



**Q** 豪雨被害での土砂崩落・土砂流入等、改修に当たっての基準等、条件は。

**A** 地方公共団体が行う災害復旧復事業には、道路、河川、砂防施設等公共土木施設に行うものと、農地、農業用施設に行うものがあり、それぞれ採択基準、国庫補助率等定められている。公共土木施設は、1ヵ所60万円以上、農業・農業用施設は、1ヵ所40万円以上の事業費となるものが対象となる。

■クラインガルテンの現状と対策について、有効活用できる方法は。



出産祝金事業の見直しについて

中森 高茂 議員



**Q** 一世帯三人以上の子育てを推進する目的で実施されたが費用対効果等鑑み見直しせざる得ない状況ではないか。

**A** この事業評価を行う中で、出産時だけではなく子供の成長にあわせて支援の充実を図るよう検討を進めている。限られた予算の中で、生まれてきたお子さんを第一子・二子ということではなく等しくお祝いし、長きにわたる子育てを応援するため、出産・入園・入学で何らかの支援ができないか検討している。

■人口減少を鈍化させるため施策について。



子どものインフルエンザ  
予防接種への補助は

福澤 眞理子 議員



**Q** インフルエンザ予防接種の費用は多大である。希望する子どもが受けられるよう支援が必要ではないか。

**A** 予防接種は有効と考えるが、予防行動が重要と考えているため、子どもへの補助については考えていない。しかしながら新型コロナウイルスとの同時流行に備え、できる限りの予防策で備えていただくことが重要と考え、今年度に限り子どもへのインフルエンザ予防接種の補助ができないか検討してまいりたい。

■河川防災カメラの環境改善。

■防災への女性の参画について考えは。



統合保育園建設予定地とそこへ  
通じる道路の交通安全の確保は

後藤 章人 議員



**Q** 中原への道は朝2時間に車430台児童生徒280人余が使う。これに保育園送迎の車が加わった時の安全確保は。

**A** 保育園への登園時間は、住民の皆さんの通勤時間をさけた時間帯であると考えているので大きな混雑は想定してない。生徒児童についても、8時までには登校しているので保育園の登園車両には重ならないと考える。県道大島阿島線特養喬木荘付近の道路幅が狭いため唐沢線利用などの協力を願いたい。

■昨年の視察で得たものを新保育園にどう生かすのか。



統合保育園イメージ図 (案)

## ー 訂正とお詫び ー

議会便り第90号において代表監査委員のお名前に誤りがありました。

(正) 大平宏司

(誤) 大平広司

訂正してお詫びいたします。



本会議での監査報告の様子

## 議会だよりへのご意見より

カラー刷りにする必要性はどうか。役場に良い印刷機があるようなので活用を望みます。

### 委員会から

見てみようと思っただけのことや、読んでみようと思っただけのことを念頭にした紙面作りを目指しています。編集は素人集団であり、見やすい紙面を作るにはプロの手を借りる方がよいと考えます。2000部を作成していますが、役場の印刷機では一枚単価の費用がかかることや、印刷後の製本等にも手間がかかるなどの理由から、現行の紙面となっています。

## ◆議会モニターのご紹介 (任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

松島 澄雄 (北)

松澤 宏至 (寺の前)

東原 高通 (帰牛原)

吉川 順二 (郭)

土屋 広晃 (町)

市瀬 成夫 (南)

原 佐和子 (馬場)

松澤 清 (両平)

知久 克弘 (田上川)

原 清志 (上平)

吉川 幸明 (伊久間)

新井 裕行 (富田)

木下 博文 (大和知)

多田 博 (氏乗)

佐々木 泰 (大島)

宮下文秀 (加々須)

原 智明 (公募)

以上17名の皆様です。今後2年間お世話になります、よろしく申し上げます。

## 議会モニターと議会との懇談会開催

新型コロナウイルスの感染症対策のため、延期してきた新旧の議会モニターの皆さんと一般質問終了後懇談を行なった。

- ・傍聴など参加することで距離が近くなった気がする。
- ・委員会の質疑はもうちょっと踏み込んで。
- ・議会だよりは読みやすくなった。手を抜いていると思われるところもみられるが、今のスタイルが良い。

など意見が出され、議会モニターの役割や活動、一般質問の内容などについて意見交換ができた。



議会モニターとの懇談会



# 監査委員を退任して

市 瀬 晴 康

私は今年の6月まで8年間、村の監査委員として仕事をさせていただきました。

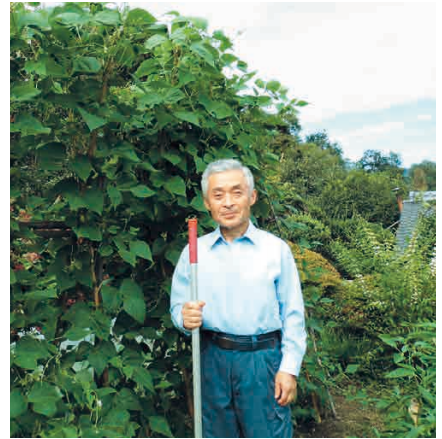
この間、監査の執行に当たりご協力いただいた村当局、関係団体及び議会の皆様方には深く感謝申し上げます。

監査に当たっての心構えは、納税者である村民の視点から、公平かつ効率的に村政が運営されているかチェックすることにあるといえます。

監査では、関係書類の審査と並行して職員から現状と課題について聴く中で、改善すべき点は一緒に考え、評価すべき点は評価して執行機関である職員の皆さんが、村民の幸福度を高める重要な仕事を担っているのだという誇りをもって業務ができるよう心掛けてきました。

少子高齢化が進む中で、議会の皆さんは村民の意見を聴きながら議論を重ねて議会改革に取り組んでこられました。議員活動の環境を整え、かつより多くの村民に議会活動に関心を寄せていただくために、議会の夜間・休日開催を行い、全国の注目を集めました。また、一般質問では村の将来を見据えた政策提言に係る議論も増えてきて、更にこれからも議論が深まることを期待いたします。

この半年余りでコロナ禍の中、生活様式は変わりつつありますが、これからも一村民として常に感謝の気持ちを忘れずに、体力の続く限り少しでもお役に立てるよう心掛けたいと思います。



## 議 会 日 誌

### 7月

17日 令和2年度第1回臨時会

### 8月

6日 全員協議会・北部町村議会議員研修会

### 9月

3日 全員協議会  
令和2年第3回定例会開会

10日 社会文教常任委員会  
総務産業建設常任委員会

12日 本会議一般質問  
議会モニターとの懇談会

16日 予算決算常任委員会

23日 第3回定例会閉会・議員全員協議会

### 10月

7日 全員協議会

### 今後の予定

#### 10月

21日(水) 県・県議会 陳情活動  
26日(月) 飯伊市町村議会議員研修会

#### 11月

9日(月) 全員協議会  
16日(月) 省庁要望活動・国会議員訪問

#### 12月

4日(金) 全員協議会  
令和2年第4回定例会開会(案)  
総務産業建設常任委員会(案)  
社会文教常任委員会(案)  
予算決算常任委員会(案)  
10日(木) 本会議一般質問(案)  
13日(日) 第4回定例会閉会(案)  
16日(水) 議員全員協議会(案)

#### 1月

3日(日) 成人式  
10日(日) 消防団出初め式  
13日(水) 全員協議会  
20日(水) 北部町村議会議員総会

### 表紙写真の説明

「コロナ禍の中で開催された青風祭。「今までどおり」ができない中、学友会を中心に工夫を凝らし素晴らしいステージバックが完成しました。第55回を数える青風祭が、今まで以上に生徒たちの心に深く刻まれたと思います。」

### あとがき

新型コロナウイルスによる影響がまだまだ続いている。まさかこんなことが突然世界全体を覆うとは半年前には想像もしていなかった。「それまで当たり前だったこと」が突然ひっくり返され、大変な思いをされている方々が沢山いる。しかし、ちよつと視点を変えてみると、「どうしても変わらなかつたことが一気に変わった」という側面もある。変えられる慣習を見直す変革の時。10年後の地域のために、その責任は今を生きる我々一人一人にあるのだと感ずる。

(佐藤 文彦)

### 編集委員会

委員長 福澤眞理子  
副委員長 東原 靖雄  
委員 中森 高茂  
委員 下平 貢  
委員 佐藤 文彦